



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	Essays on Trade, Environmental Challenges, and Poverty in Transition Economies [an abstract of dissertation and a summary of dissertation review]
Author(s)	Khasanov, Shokhrukh Hamid Ugli
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(経済学)
Dissertation Number	甲第16392号
Issue Date	2025-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/95122
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	doctoral thesis
File Information	Shohruh_Khasanov_review.pdf, 審査の要旨



学位論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称：博士（経済学）

氏名：Shokhrukh Khasanov

審査委員	主査	准教授	相澤俊明
	副査	教授	齋藤久光
	副査	准教授	樋渡雅人（東京大学）

学位論文題名

Essays on Trade, Environmental Challenges, and Poverty in Transition Economies (移行経済諸国における貿易、環境問題、貧困に関する研究)

Shokhrukh Khasanov 氏の博士論文は、移行経済諸国における国際貿易、環境問題、貧困の相互関係を実証的に分析することを目的としている。本研究は、東欧、中欧、中央アジアの移行経済諸国を対象とし、これらの国々におけるグローバル市場への統合が経済および社会に及ぼす影響についての新たな知見を提供することを目指している。特に、企業レベルおよび個人レベルのデータを用いた計量分析を通じて、制度的要因が企業行動や貧困の動態に与える影響を解明することに重点をおいている。

第2章では、移行経済諸国における製造業企業の生産性と輸出行動の関係を分析している。29か国の企業レベルデータを用い、Heckmanの2段階推定法を適用することで、輸出の参入（export propensity）と輸出の強度（export intensity）の決定要因を区別して考察している。特に、国内制度の質の違いが生産性と輸出の関係に与える影響を分析し、企業の行動が制度的環境によって大きく異なることを示している。結果として、生産性が輸出参入には正の影響を与える一方で、規制が未整備な環境ではその効果が弱まることが見出されている。また、輸出の強度に関しては生産性の影響が限定的であることが示されている。

第3章では、移行経済諸国の製造業企業における輸出と環境対策の関係を分析している。特に、エネルギー効率の向上と環境配慮型の取り組みの2つの側面に分け、それぞれに対して輸出活動が与える影響を検討している。世界銀行の企業調査データを活用し、内生性の問題に配慮しながら推定を行った結果、輸出は環境配慮の取り組みの実施には正の影響を与えるものの、エネルギー効率の改善には必ずしも結びつかないことが示された。これらの結果を移行経済諸国の制度的特徴と関連付け、政策的・理論的含意を提示している。

第4章では、ロシアのヤクート先住民を対象に、貧困や福祉の問題と環境問題の関連性を検討している。e-Asia Joint Research Programの調査データを用い、ヤ

クートの 17 の先住民集落における生活環境を分析した結果、半数の人々が絶対的貧困状態にあり、5 人に 4 人が栄養失調または貧血に苦しんでいることが示された。この数値は既存文献で報告されている水準を上回るものであり、サハ共和国およびロシア全体の平均値と比較しても極めて深刻である。本章では、これらの問題が気候変動と密接に関係していることが議論され、先住民の社会経済的脆弱性と環境変化の相互作用を包括的に捉えている。

令和 7 年 2 月 7 日に、本学経済学研究院の相澤俊明、齋藤久光、及び東京大学大学院総合文化研究科の樋渡雅人による審査委員会を開催した。審査委員会の評価は以下の通りである。

本論文は、移行経済諸国における貿易、環境問題、貧困といった重要なテーマを扱い、実証的な手法を駆使して新たな知見を提供している点で高く評価できる。特に、企業レベルのデータを用いた精緻な計量分析により、制度的環境が企業行動に及ぼす影響を明らかにした点は、国際経済学および開発経済学の文献に対する重要な貢献といえる。また、環境問題と企業行動の関係を詳細に分析し、輸出が環境配慮型の取り組みには影響を与えるが、エネルギー効率の向上には結びつかないという発見は、持続可能な開発政策の設計に示唆を与える。さらに、先住民の貧困問題を環境変化と関連付けた分析は、従来の貧困研究を補完し、新たな視点を提供している。

一方で、いくつかの課題も指摘できる。第一に、制度的環境の異質性を考慮しているとはいえ、移行経済諸国の中でも国ごとの差異が大きいため、個別の国ごとの詳細な分析がさらに求められる。第二に、企業の輸出と環境対策の関係について、因果関係の厳密な識別を行うために、より詳細なデータや自然実験的手法の導入が望ましい。第三に、第 4 章の先住民の貧困と環境問題の分析については、長期的な視点からの動向分析を行うことで、気候変動が地域経済に与える影響の理解がさらに深まると考えられる。

総じて、本論文は移行経済における貿易、環境、貧困の問題を体系的に捉え、実証分析を通じて貴重な知見を提供しており、学術的に意義深い研究である。以上をふまえ、当審査委員会は、**Shokhrukh Khasanov** 氏により提出された学位請求論文について、全会一致で、博士（経済学）の学位の授与にふさわしい内容であると判断した。